

■**コウノトリもすめるさとづくり支援事業補助金**
【農林水産業費】(新規) 130万円
(農林水産環境部 農政課)

生物多様性を育む農業を推進するため、ホタルやトンボ、カエル、メダカなどをはじめとした多様な生物、コウノトリなどの鳥類が共生する豊かな田園・里山の環境整備を図る市内の農業者を含む3戸以上の団体等が行う取り組みに対し支援します。(平成24年度～平成28年度)

- 補助率：対象事業費の10分の8以内(補助限度額：10万円)
- 対象事業費：事業採択1万円以上



豊岡市内の水田ビオトープ

生物多様性を育む農業

農業の持つ物質循環機能を活かし、環境への負荷をできる限り低減して、多様な生物を育み、消費者の求めるより安心安全な農産物を生産する農業

2 循環型社会の構築

持続可能な循環型社会を目指して

■**地域資源循環の推進**

【衛生費】(継続) 122万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

私たちの生活や事業活動を通して大量に発生するごみの中には、工夫次第で資源として活用できるものがたくさんあります。ごみはしっかり分別すれば資源として活用することが可能であり、ごみからできた肥料を農地で使うことで資源の循環を行うことができます。

今年度は、昨年度に引き続き、家庭ごみ分別収集をモデル的に行い、ごみの分別収集方法を検証するとともに、ごみなどから作った肥料の農地利用を促進します。

また、本市におけるごみの分別処理および資源化の取り組みを推進するため、福岡市などの先進地を視察し、分別処理方法や必要な設備規模および取

集体制等について情報収集するほか、利活用方法や市民への普及啓発方法等についても調査研究を行います。



モデル地区での生ごみの収集

■**液肥普及推進事業**

【衛生費】(新規) 25万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

平成22年度から本格的に取り組みをはじめたメタン発酵消化液の液肥としての農業利用は、今年度で3年目を迎えます。平成22年度は287ト。平成23年度は1,845トと利用実績が着実に増え、今年度は、5月末現在で昨年実績とほぼ同量の1,850トの利用量となっています。

また、昨年12月には、液肥利用農産物のブランド化や効率的散布等を検討する母体として「液肥利用者協議会」が発足し、「環のちから」という液肥利用農産物のブランド名称を決定しました。今年度は、液肥利用農産物の積極的な推進を図るために、「環のちから」のパンフレット等のPR資材やブランドロゴのシールを作製するとともに、液肥のさらなる普及啓発のために、セミナーを開催します。



京丹後市エコエネルギーセンター

メタン発酵消化液

京丹後市エコエネルギーセンターで食品残渣を原料にしてガス発電をした際に発生する液体です。この液体には、窒素・リン・カリなどの肥料成分が含まれており、水稲や畑作物などの肥料として農業利用ができます。

Ⅲ 生きる喜びを共有できる
健やか安心都市

安心ネットワーク形成プロジェクト構想

1 市民主体の健康づくりの推進

自殺ゼロのまちづくりに向けて

■**自殺予防の対策**

【衛生費】(継続) 203万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市民の皆さまを対象に自殺予防を図るため、講演会を開催するとともに、毎月、臨床心理士を迎え「こころの健康相談」事業を実施し、悩みを抱える方の相談を受けます。さらに、相談を受ける人材を育成するための講座も開催します。

そのほか、悩みを抱える方が、電話で相談できるフリーアクセス(無料接続)を引き続き実施します。

(相談窓口)

京丹後市内から、固定電話や携帯電話で下記の番号に掛けていただければ無料でご利用いただけます。



自殺予防「こころ・いのち・つなぐ手研修会」

無料相談窓口

- ◇「こころの電話相談」
(京都府精神保健福祉総合センター)
☎0120-689-874
(月曜日～金曜日)(9時～12時・13時～16時)
- ◇社会福祉法人「京都いのちの電話」
☎0120-689-107(365日・24時間)

市民の健康を守ります

■**健康づくり推進員の活動支援**

【衛生費】(継続) 129万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市民の「自らの健康は自ら守る」意識を高め、地域での積極的な健康づくり活動の推進役として、健康づくり推進員を平成22年3月から設置し、検診受診の啓発キャンペーンや地域での運動教室を実施しています。また、健康づくり推進員自身が健康づくりのための知識を持ち、自分や家族の健康づくり

を進めるとともに、地域での活動が円滑にできるよう交流や研修会を行います。

○健康づくり推進員 222人(平成24年5月末)



健康づくり推進員による
全体研修会の様子

■**在宅健康管理事業**

【衛生費】(継続) 334万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

在宅健康管理システムは、市が貸与した自動血圧計と専用携帯端末機を使って、血圧測定したデータを市役所に送信することで、在宅で日々の健康状態を管理できるシステムです。

また、データの状況に応じて、メール、電話、訪問等により保健師が保健指導を行います。

循環器疾患予防のため、「血圧管理」を基本とした在宅での健康管理に重点をおき、在宅での血圧測定を習慣化し、健康への関心を深めることにより生活習慣病の予防促進を行います。

- 貸出数：200台
- 毎日測定したデータをグラフにして、3か月に1度ご自宅へ届けます。
- 希望により離れて暮らしている家族に、測定値のメール送信サービスも行います。



血圧測定の様子

■**妊婦健康診査事業**

【衛生費】(継続) 2,966万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

安心して健やかな出産を迎えるためには、定期的に妊婦健康診査を受診し、胎児の成長や妊婦の体調を確認するとともに、病気などを早期に発見することが必要です。

適切な時期に確実に妊婦健康診査を受診していただくために基本健診14回のほか、超音波検査や免疫検査などの追加健診14回分の費用の一部を助成します。

